

## 資料1 木村草太教授の意見

### 安倍元首相の国葬「法の下に平等に反する」

2022年8月19日 06時00分

政府が閣議決定した安倍晋三元首相の国葬に対する反対の声や、識者や市民団体が声明や抗議行動を通じて撤回を求めている。なぜ、これほど国民は違和感を覚え、反発するのか。憲法学者の東京都立大・木村草太教授（42）の話をもとに国葬の問題点を考察した。（坂田奈央）

#### ◆「憲法の平等原則に違反」

「安倍元首相だけ特別扱いする理由があるのか。安倍氏にのみ当てはまる『国葬を行うべき理由』を説明できないなら、憲法の平等原則に違反する」。木村氏は問題の根幹を指摘する。

憲法の平等原則は14条で、すべての国民は「法の下に平等」と宣言していることを指す。

岸田文雄首相は安倍氏の国葬実施の理由に関し、憲政史上最長の8年8カ月間の首相在任、経済再生や外交での大きな実績、選挙中の蛮行による死去で国内外から哀悼の意が寄せられていることなどを挙げる。

木村氏は「『大きな実績』というのは、岸田内閣の主観的な評価にすぎない。国が行う儀式の対象とする以上、首相の功績の大きさは客観的な評価が必要だ」と疑問を投げかける。

憲法14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

②華族その他の貴族の制度は、これを認めない。

③栄誉、勲章その他の栄典の授与は、いかなる特権も伴はない。栄典の授与は、現にこれを有し、又は将来これを受ける者の一代に限り、その効力を有する。

#### ◆実績評価は第三者機関が政治から独立して行うべき

国葬は半世紀以上前の吉田茂元首相以来で、現憲法下で2例目。当時も異論があり、以降の首相経験者の葬儀は「国民葬」「内閣・自民党合同葬」などの形をとってきた。

安倍氏と比べ、吉田氏以降の歴代首相の実績はどうだったのか。

例えば池田勇人氏は「所得倍増計画」を掲げ、日本を経済大国に押し上げた。佐藤栄作氏は沖縄返還を実現し、ノーベル平和賞を受賞。中曽根康弘氏は国鉄改革などを行い、外交ではレーガン米大統領と親密な関係で日米関係を基軸とした外交を展開した。

資料2 朝日新聞世論調査（9月10日、11日）

朝日新聞社は10、11の両日、全国世論調査（電話）を実施した。27日に行われる安倍晋三元首相の国葬の賛否は賛成38%、反対56%となり、前回8月調査（27、28日実施）の賛成41%、反対50%と比べて**賛成が減り反対が増えた**。8日に岸田文雄首相が国会で実施理由などを説明したが、効果が出ていない形だ。

今回新たに、国葬賛否それぞれの理由を3択で質問した。賛成の人は、そのうち66%が「安倍元首相の実績を評価しているから」を選んだ。次いで「最も長く首相をつとめたから」が17%、「選挙中に銃撃され、亡くなったから」が13%だった。

資料3-1 全国靈感商法対策弁護士連絡協議会 窓口別被害集計（1987年～）

年	被害弁連（東京分）		全国弁護（東京分除く）		消費者 センタ	合計		
	件数 (件)	被害金額 (円)	件数 (件)	被害金額 (円)		件数 (件)	被害金額 (円)	
1987	2,404	16,175,898,600	243	222,368,004	*	*	2,647	16,398,266,604
1988	305	4,850,000,000	985	2,565,334,684	*	*	1,290	7,415,334,684
1989	231	357,966,000	2,036	1,708,828,066	*	*	2,267	2,066,794,066
1990	393	1,591,706,000	1,333	1,002,847,321	1,154	545,203,606	2,880	3,139,756,927
1991	279	7,916,834,413	996	909,573,176	551	392,610,805	1,826	9,219,018,394
1992	1,064	4,512,323,678	657	1,687,536,151	890	1,134,875,807	2,611	7,334,735,636
1993	808	6,881,870,000	1,345	5,310,491,608	*	*	2,153	12,192,361,608
1994	523	2,405,478,983	140	839,930,788	374	295,563,373	1,037	3,540,973,144
1995	405	3,383,610,012	31	193,543,200	278	147,298,066	714	3,724,451,278
1996	498	2,087,229,700	15	464,053,623	248	305,005,362	761	2,856,288,685
1997	582	1,241,225,600	56	847,864,800	153	82,766,091	791	2,171,856,491
1998	470	3,856,621,074	49	361,975,146	329	397,583,215	848	4,616,179,435
1999	387	2,518,950,350	44	155,694,000	250	171,260,998	681	2,845,905,348
2000	418	1,999,711,160	15	175,006,500	219	216,923,045	652	2,391,640,705
2001	1,282	1,762,715,136	84	277,266,281	166	95,550,089	1,532	2,135,531,506
2002	556	2,534,652,550	33	90,394,469	109	126,123,119	698	2,751,170,138
2003	878	2,968,902,450	72	606,946,890	94	150,867,258	1,044	3,726,716,598
2004	763	2,823,224,286	52	101,175,927	102	94,150,750	917	3,018,550,963
2005	834	2,196,950,537	76	490,214,081	185	138,663,548	1,095	2,825,828,166
2006	818	2,527,289,167	370	1,275,706,048	155	193,036,014	1,343	3,996,031,229
2007	878	2,946,794,045	153	946,859,500	221	186,155,275	1,252	4,079,808,820
2008	888	2,580,825,979	191	761,210,735	431	385,015,507	1,510	3,727,052,221
2009	847	3,121,615,961	108	406,303,540	158	209,017,800	1,113	3,736,937,301
2010	479	1,397,214,016	84	237,478,366	58	136,005,000	621	1,770,697,382
2011	324	1,067,400,611	32	166,274,050	31	18,159,000	387	1,251,833,661
2012	411	1,467,193,163	63	279,955,800	47	37,040,200	521	1,784,189,163
2013	130	495,308,107	30	359,618,923	25	29,201,000	185	884,128,030
2014	189	719,190,172	19	317,339,348	31	36,247,696	239	1,072,777,216
2015	61	677,750,640	108	350,261,723	5	21,000,000	174	1,049,012,363
2016	79	187,122,681	68	343,455,376	12	4,530,000	159	535,108,057
2017	122	731,889,760	49	168,787,190	17	2,437,000	188	903,113,950
2018	51	2,172,347,580	2	2,008,500	8	16,911,000 -	61	2,191,267,080
2019	63	961,488,750	16	169,167,000	-	-	79	1,130,655,750
2020	45	162,700,000	169	755,372,300	-	-	214	918,072,300
2021	30	240,793,837	17	90,736,670	-	-	47	331,530,507
合計	18,495	93,522,794,998	9,741	24,641,579,784	*	*	34,537	123,733,575,406

資料3-2 (旧統一教会による具体的被害例)

## 合同結婚した夫から暴力、耐えられず脱会…今も「地獄に落ちる」の言葉が浮かび恐怖感

■自殺未遂も「つらかったのは、私だけではないと思えた」2022年9月9日

## 合同結婚した夫から暴力、耐えられず脱会…今も「地獄に落ちる」の言葉が浮かび恐怖感

■自殺未遂も「つらかったのは、私だけではないと思えた」

関西地方に住む50歳代の元信者の女性は、支援団体「全国統一協会（教会）被害者家族の会」が8月27日に東京都内で開いた相談会に、初めて参加した。

女性が入信したのは、20歳代だった1989年。兄に誘われ、信者の集まりに参加する中、「（創設者の）文鮮明氏こそが天から送られたメシア（救世主）」と信じるようになったという。

合同結婚式で初めて会った韓国人の男性と結婚。日本で暮らし、2人の子どもが生まれた。しかし、少ない収入から献金し、国民健康保険料を払えず、病院に通えないほど困窮した。

夫は激高すると暴力を振るった。うつ病になり、統一教会に相談したが、「献金が足りない」と言われた。自殺未遂を繰り返した末、40歳半ばで暴力に耐えられなくなり、自治体に保護を求めて離婚。被害救済に取り組んでいたキリスト教牧師に相談し、脱会した。

脱会から十数年になる。しかし、「脱会は神を欺く裏切り。地獄に落ちる」と長年聞かされた言葉が頭に浮かび、恐怖に襲われる。この2か月で知らなかった家庭連合の問題が報道され、支援団体の存在を知り、「同じ境遇の人とつながりたい」と連絡したという。

家族の会には事件後、約200件の相談が寄せられ、東京での相談会には元信者ら約30人が集まった。女性は「両親は亡くなり、誰にも相談できず、孤独だった。好きな人と結婚できなかった人生は取り戻せず、心の傷は一生残る。国は厳しく対応してほしい」と訴える。

■2世の思い

中国地方に住む30歳代の女性は、信者の両親を持つ「宗教2世」だ。信仰を強制され、恋愛も禁止され、「自分で何も選択できない人生だった」と振り返る。

事件後、国は救済に乗り出し、今月5日に設置した合同電話窓口には初日に155件の相談が寄せられた。女性も電話をし、弁護士を紹介されたという。

「やっと私たちに目を向けてくれた」と期待するが、過去の記憶がよみがえり、苦しい思いもしている。

「統一教会という言葉を聞くだけで、動悸がする。どうしたって自分の人生は取り戻せない」と言葉少なに語った。

◆理念の近さで「右派政治家と互いに利用」

旧統一教会が拡大していく過程で見逃せないので、政治との関係だ。特に旧統一教会の実質的な政治部門として機能してきたのが、保守系政治団体「国際勝共連合」(勝共連合)だとされる。勝共連合は1968年、文氏が韓国と日本で設立した。目的は反共運動。時代は東西冷戦が激しさを増し、米国はベトナム戦争を泥沼化させていた。共産主義の脅威が今より切迫して語られていた。初代名誉会長には、右翼の大物で戦後政界のフィクサーと言われ、日本船舶振興会(現日本財団)の会長を務めた笹川良一氏を迎えた。岸信介元首相を名誉実行委員長とする集會も開かれたという。

塚田氏は「勝共連合の設立経緯から岸信介や福田赳夫といった理念的に近い保守政治家と結び付いていった」との認識を示す。その上で、「今は改憲や家族観、反ジェンダーフリーなどで考えが合致する政治家との距離が近い。団体にとっては理念の実現や運動が守られることへの期待があるのだろう。一方で、政治家は選挙などで支援が得られる。右派政治家と団体がお互いに利用し合う関係になっている」と解説する。

◆第2次安倍政権でさらに接近

問題となっている安倍氏との関係はどうか。

「各地の紛争の解決に努力してきた韓鶴子総裁をはじめ皆さまに敬意を表します」。昨年9月、旧統一教会の友好団体「宇宙平和連合(UPF)」が開いた大規模集會「シンクタンク2022 希望前進大会」に、安倍元首相がビデオメッセージを寄せた。

UPFは文鮮明氏と妻で現在の教団トップである韓氏が2005年に創設したNGOだ。

安倍氏は「UPFが家庭の価値を強調する点を高く評価します」「偏った価値観を社会革命運動として展開する動きを警戒しましょう」と家族観への共鳴を明示した。

「積み重ねを経て、ついに隠さなくなった印象だった」。安倍氏と旧統一教会の関係についてジャーナリスト鈴木エイト氏は語る。

安倍氏は官房長官時代の06年、旧統一教会の違法な勧誘などが問題化する中、UPFの集會に祝電を寄せた際、「誤解を招きかねず、担当者に注意した」とコメントしていた。

鈴木氏によると、安倍氏と旧統一教会との関係の深まりは、12年に首相に返り咲いて以降になる。憲法改正と長期政権を目指す安倍氏や自民党にとって、「組織票に加え、秘書や選挙の運動員などの人員を提供してくれる旧統一教会は有用な存在だった」。

安倍氏に限らず、教団関連の行事に出席したり、祝電を寄せたりする自民党議員が続出していたという。「単に容疑者の思い込みで片付けるのではなく、安倍氏と旧統一教会の関係を解明しないと、事件の全容はつかめない」

◆安倍氏ビデオメッセージへの抗議文は受け取り拒否

全国霊感商法対策弁護士連絡会(全国弁連)の山口広代表世話人は「旧統一教会を宗教団体と一般化してはならない。巧妙、計画的、組織的にカネを集める団体だ」とくぎを刺す。

09年、旧統一教会の霊感商法に対して、警視庁が強制捜査を実施。教団施設や関連会社が搜索され、幹部らが特定商取引法違反(威迫・困惑)で有罪判決を受けた。山口氏によれば、この事件を受け教団は政治家への働き掛けが不十分だったと総括し、関係強化を図ったという。その時代に第2次安倍政権は重なる。

11日に会見した世界平和統一家庭連合の田中富広会長は「09年以降は献金のトラブルはない」としているが、霊感商法被害救済担当弁護士連絡会の渡辺博事務局長は「来年5月までに韓国の教団施設建設のため、1人120万円献金せよという大号令が出ている。今もやっていることは変わらない」と話す。

全国弁連では19年、全国会議員に、旧統一教会関連の行事に参加したり、メッセージを送ったりしないよう要望書を提出した。

昨年の安倍氏のビデオメッセージに対しては、抗議文を内容証明郵便で送ったが、地元事務所からは返答がなく、国会事務所には受け取りを拒まれた。メッセージは事件の動機の一つとも言われる。

山口氏は「靈感商法や違法な勧誘で社会問題化した団体に政治家がエールを送ると、警察が手を出しにくくなり、被害を拡大させる」と強調する。

全国弁連は12日、記者会見を開催。事件の容疑者と同じように、母親が旧統一教会の信者という40代の女性も出席した。女性は一時信者となり、合同結婚式に参加して教団の指示で夫になった男性から暴力を受け続けた。プライバシー保護のため、ついでの中で話した女性は、絞り出すようにこう話した。

「(事件は)間違っているが、人生を旧統一教会に破綻させられたというのは理解でき、苦しい心情だ。放置されてきた問題が少しでも解決に向かえばと願う」